

知に触れ合いませんか!

主催：東大阪市教育委員会

共催：大阪経済法科大学・大阪産業大学・大阪樟蔭女子大学・
大阪商業大学・近畿大学・東大阪大学(50音順)

受講者募集

受講料
無料

2019年は元号の改正、ラグビーワールドカップ日本大会の開催、2020年には東京オリンピックが開催されるなど、まさに今、時代が大きく動こうとしています。今回は、「動(Ugoku)」を共通テーマに掲げ、6大学の精鋭人気講師陣が、分かりやすく解き明かしていく公開市民講座です。皆様のご応募お待ちしております。

平成31年
2月3日(日)・4日(月)・5日(火)・6日(水)・7日(木)・8日(金)

記号	講座日	開催時間	大学名	講演テーマ	講師
A	2/3(日)	14:00~15:30	大阪商業大学	人工知能と人の適応 ー日本の機械化史を通してー	のりくも 法雲 俊栄 先生 総合経営学部 経営学科 准教授
B	2/4(月)	14:00~14:30	(株)アドバンス	時代は動く 変化を夢に	やすかわ あき お 安川 昭雄 様 取締役会長
		14:30~16:00	大阪産業大学	森は動き、生きものたちを育む ー生物多様性とわたしたちの暮らしー	まえさこ 前迫 ゆり 先生 デザイン工学部 環境理工学科 教授
C	2/5(火)	14:00~14:20	HOS(株)東大阪スタジアム	お家でも簡単にできる機能改善エクササイズ	たかし 高石 翼 様 HOS小阪フィットネスクラブ
		14:20~15:50	大阪経済法科大学	年号のおはなし ーその文化現象の歴史を中心にー	こ 伍 やく 躍 先生 国際学部 国際学科 教授
D	2/5(火)	19:00~20:00	大阪経済法科大学	情報資源による価値創出 ビジネスman向	たかし 高橋 敏朗 先生 地域総合研究所所長 特任教授
E	2/6(水)	14:00~15:30	大阪樟蔭女子大学	音楽の力 ー集团的音楽活動の意義ー	やまさき 山崎 晃男 先生 学芸学部 心理学科 教授
F	2/7(木)	14:00~15:30	東大阪大学短期大学部	「認知症を予防するために」 ー認知症予防プログラム「コグニサイズ」ー	しげまつ よしなり 重松 義成 先生 介護福祉学科 助教
G	2/8(金)	19:00~20:00	近畿大学	大学スポーツは動くか? ビジネスman向 ー日本版NCAAの動向とKCAAの役割ー	さ かわ かずのり 佐川 和則 先生 経営学部 教養・基礎教育部門 教授

申し込み

次の①②のいずれかの方法にて 1月25日(金)までにお申し込み下さい(メールによるお申し込みはできません)
(各講座とも定員に到達しだい、受付終了します)

①往復はがき⇒「講演テーマの記号(A~G)」「複数講座の受講希望可」、「氏名(ふりがな)」、「住所」、「年齢」、「性別」、「電話連絡先(携帯電話番号も)」明記。(1/25 消印有効) 【後日、返信はがきを受講票としてお送りいたします】

②パソコン(インターネット)⇒ 東大阪市役所ウェブサイト(<http://www.city.higashiosaka.lg.jp/>)→「教育委員会」→「社会教育」→「東大阪市連携6大学公開講座」にアクセスし、「申込専用フォーム」に必要事項を入力し送信してください。(1/25 中の送信有効) 【後日、受講票をお送りいたします】

*下記 URL より、「東大阪市連携6大学公開講座」のページにアクセスし、そこから「申込専用フォーム」に必要事項を入力し送信していただくこともできます。

<http://www.city.higashiosaka.lg.jp/0000007969.html>

- ・対象：どなた様でも大歓迎
- ・会場：東大阪市立 男女共同参画センター・イコラム
(希来里[きらり]ビル施設棟 6F) (近鉄若江岩田駅北側すぐ)
- ・定員：A~Gの講座いずれも各240名(先着順)
- ・都合によりキャンセルされる場合は必ず 1/25(金)までにご連絡ください
(1/26以降のキャンセルはお受けできません)
- ・個人情報につきましては、当講座のご連絡以外には使用いたしません
- ・各講座とも手話通訳あり



問合せ・申込先

東大阪市立社会教育センター「東大阪市連携6大学公開講座」担当
住所：〒577-0056 東大阪市 長堂1-17-29
TEL：06-6789-4100 FAX：06-6789-5212



記号	講座日	開催時間	大 学 名	講 演 テ ー マ	講 師 (敬称略)
A	第1日目 2/3(日)	14:00～ 15:30	大阪商業大学	人工知能と人の適応 -日本の機械化史を通して-	総合経営学部 経営学科 准教授 法雲 俊栄 先生
	労働の大半が人工知能等に代替可能といわれており、私たちの未来に働く余地はあるのかと不安になります。かつて日本の近代化でも、計算手、点消方、工女、灯台員などの仕事は、新しい技術や他の職種に代替されてきました。人々は、どのように新しい技術を受け入れてきたのでしょうか。人跡を辿り、未踏の人工知能社会について、若い方からご年配の方まで楽しんでいただけたらようご紹介いたします。				
B	第2日目 2/4(月)	14:00～ 14:30	(株)アドバンス	時代は動く 変化を夢に	取締役会長 やすかわ あきお 安川 昭雄 様
	古来より人類は、食料を確保し、自然や外敵から身を守るために、地上の物を用いて様々な道具を作ってきました。次第に、素材を組み合わせるなどの様々な工夫をし、後の産業革命にみられる蒸気機関・電力・地下資源の活用等に繋がります。今後、新しい時代へ向けて電子頭脳・人工人間の製作等、いっそう、モノ創りの進化は加速度を増すとされています。今回は、「“昔・現在・未来のモノ創りの変化”と“モノづくりの信念”」についてお話をします。				
C	第2日目 2/4(月)	14:30～ 16:00	大阪産業大学	森は動き、生きものたちを育む -生物多様性とわたしたちの暮らし-	デザイン工学部 環境理工学科 教授 まえさとし 前迫 ゆり 先生
	日本は国土の7割が森林であり、我々は自然の恵みとともに暮らしています。その一方、生物多様性の劣化が進行し、斜面崩壊といった自然災害も生じています。生駒山はじめ身近な森林生態系の動きについて話をします。				
D	第3日目 2/5(火)	14:00～ 14:20	HOS(株) 東大阪スタジアム	お家でも簡単にできる 機能改善エクササイズ	HOS小阪フィットネスクラブ たかいし つばさ 高石 翼 様
	お家で簡単にできるエクササイズを行ってまいります。普段から身体を動かす習慣がないと、身体はだんだんと固まってきてしまいます。少しずつでも身体を動かすことで、肩こりや腰痛等の予防や改善にも繋がります。頭の体操等も取り入れたエクササイズ方法をお家でも1人でできるように紹介いたします。				
E	第3日目 2/5(火)	14:20～ 15:50	大阪経済法科大学	年号のおはなし -その文化現象の歴史を中心に-	国際学部 国際学科 教授 ごやく 伍 躍 先生
	2019年は、新天皇の即位にともない、新しい年号が誕生することになります。しかし、なぜ人間は「年号」というものを考え出したのでしょうか？ また、年号決定のプロセスとはどのようなものなのでしょうか？ これらの謎を解く鍵は歴史のなかにあり、しかもその答えは驚きに満ち溢れています。本講座では、日本だけでなく、中国・朝鮮半島・ベトナムにあった年号の歴史をわかりやすく解説します。				
F	第3日目 2/5(火)	19:00～ 20:00	大阪経済法科大学	情報資源による価値創出 ビジネスマン向	地域総合研究所所長 特任教授 たかはし としろう 高橋 敏朗 先生
	最近、新聞紙上やテレビ、週刊誌などでIT (ICT)、AIに関連するトピックスを見かけない日はありません。本講座では、企業経営の中で、情報資源がどのように取り扱われてきたのかを概観すると共に、企業での価値創造に情報資源がどのように関わろうとしているかについてわかりやすく解説します。				
G	第4日目 2/6(水)	14:00～ 15:30	大阪樟蔭女子大学	音楽の力 -集团的音楽活動の意義-	学芸学部心理学科 教授 やまさき てるお 山崎 晃男 先生
	最近の音楽に関する動きとして、ライブ参加者の増大や若年層・高齢者層を中心とした合奏・合唱活動の隆盛があります。そこでのキーワードは「集団による音楽活動」です。音楽心理学が明らかにしつつある音楽の本質の観点から、集团的音楽活動の意義について考えます。				
H	第5日目 2/7(木)	14:00～ 15:30	東大阪大学短期大学部	「認知症を予防するために」 -認知症予防プログラム「コグニサイズ」-	介護福祉学科 助教 しげまつ よしなり 重松 義成 先生
	フレイルや認知機能低下、転倒、認知症は、加齢とともに急速に有病率が増大するといわれています。今回の講座では、認知症や認知症予防プログラムのなかの「コグニサイズ」をご紹介し、元気にいきいきとした地域社会づくりを考えていきましょう。				
I	最終日 2/8(金)	19:00～ 20:00	近畿大学	大学スポーツは動くか？ ビジネスマン向 -日本版NCAAの動向とKCAAの役割-	経営学部 教養・基礎教育部門 教授 さがわ かずのり 佐川 和則 先生
	スポーツ庁は平成30年度末を目途に日本版NCAAの設立を目指しています。これに先立ちKCAA(大学スポーツコンソーシアムKANSAI)が立ち上がりました。大学スポーツを抜本的に変えると予想されるこれらの組織の取り組みを一緒に考えてみましょう。				